

2016年社史パネルで発表された企業の社史の概要

門倉百合子

渋沢公益財団法人渋沢栄一記念財団

【No】1J

【会社名】本田技研工業(株)

【社史タイトル】語り継ぎたいこと：チャレンジの50年：総集編『大いなる夢の実現』

【発行年】1999

【会社沿革と社史メモ】静岡で自動車のピストン製造を行っていた本田宗一郎（1906-1991）は、戦後自転車の補助エンジンを開発し1946年（昭和21）本田技術研究所設立。1948年（昭和23）株式会社となり、翌年藤沢武夫（1910-1988）が常務として入社し営業を担当、東京へ進出。世界一のオートバイメーカーを目指して開発製造に邁進し、1958年（昭和33）スーパーカブ発売、翌年マン島TTレース出場を果たす。創立からの50年史は『大いなる夢の実現』と題した冊子体の総集編、別冊の年表・資料、2枚のCD-ROM「12の部門で綴る50年」「映像と音で綴る50年」からなる。総集編はものづくりの夢と情熱を具体的なエピソードからまとめたもので、創業者精神が隅々に行き渡っている社風を浮かび上がらせている。

【SSD（渋沢社史データベース）リンク】

[本編] http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=6780

[年表・資料版] http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=6790

【社史ウィキリンク】 https://library.osu.edu/wikis/shashidb/index.php/Honda_Motor_Co

【No】2J

【会社名】トヨタ自動車工業(株)

【社史タイトル】トヨタのあゆみ：トヨタ自動車工業株式会社創立40周年記念

【発行年】1978

【会社沿革と社史メモ】静岡出身の豊田佐吉（とよだ・さきち、1867-1930）は1890年（明治23）の内国勧業博覧会に日参し動力機械について学び、国産初の動力織機を発明。1926年（昭和元）愛知県に豊田自動織機製作所を創立、長男喜一郎（きいちろう、1894-1952）は自動車の研究に着手する。最新の生産技術を蓄積しながら国産大衆車の製造を目指し、1937年（昭和12）トヨタ自動車工業(株)として独立。在庫をもたない流れ作業を前提とした工場のレイアウトを構想し、効率化と品質管理に務める。1950年（昭和25）販売部門をトヨタ自動車販売(株)として分離。1937年の創業から40周年を記念して出版した「わたしとくるま」「わ・わざ・わだち」の2冊とともに、「文明にとって車とは」という社史セットを構成。

【SSDリンク】 http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=6650

【社史ウィキリンク】 https://library.osu.edu/wikis/shashidb/index.php/Toyota_Jidosha_Kogyo

【No】 3J

【会社名】 トヨタ自動車工業(株)

【社史タイトル】 わたしとくるま：トヨタ自動車工業株式会社創立 40 周年記念論文集

【発行年】 1977

【会社沿革と社史メモ】 1937 年（昭和 12）創業のトヨタ自動車工業（株）の、40 周年記念出版社史「文明にとって車とは」3 冊セットの 1 冊。記念事業の一環として行なった「論文・オピニオンの全国公募」で集まった 1,994 編の中から、最優秀・優秀作品 18 編を収録。選考委員は梅棹忠夫ほか。

【SSD リンク】 http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=6640【社史ウィキリンク】 https://library.osu.edu/wikis/shashidb/index.php/Toyota_Jidosha_Kogyo

【No】 4J

【会社名】 トヨタ自動車工業(株)

【社史タイトル】 わ・わざ・わだち：トヨタ自動車工業株式会社創立 40 周年記念写真集

【発行年】 1978

【会社沿革と社史メモ】 1937 年（昭和 12）創業のトヨタ自動車工業（株）の、40 周年記念出版社史「文明にとって車とは」3 冊セットの 1 冊。沿革、製造、製品、従業員、広告など 8 つの視点からまとめた写真集。

【SSD リンク】 http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=6660【社史ウィキリンク】 https://library.osu.edu/wikis/shashidb/index.php/Toyota_Jidosha_Kogyo

【No】 5J

【会社名】 トヨタ自動車販売(株)

【社史タイトル】 モータリゼーションとともに

【発行年】 1970

【会社沿革と社史メモ】 1937 年（昭和 12）創業のトヨタ自動車工業(株)が戦後の経営再建策として販売部門を独立させ、1950 年（昭和 25）トヨタ自動車販売(株)設立。以降潜在需要を開発し、国内から海外に市場を広げる。社史は設立のいきさつから 20 周年までの歩みを、業容拡大の大きな流れに沿って記述。別冊資料編あり。[1982 年（昭和 57）再合併しトヨタ自動車（株）発足]

【SSD リンク】

[本編] http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=6670[資料] http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=6680【社史ウィキリンク】 https://library.osu.edu/wikis/shashidb/index.php/Toyota_Jidosha_Hanbai

【No】 6J

【会社名】 トヨタ自動車(株)

【社史タイトル】 創造限りなく：トヨタ自動車 50 年史

【発行年】 1987

【会社沿革と社史メモ】 1937 年（昭和 12）創業のトヨタ自動車（株）の 50 年史。プロローグに豊田佐吉の小伝を置き、本文ではトヨタ自動車工業(株)としての創立からの 50 年の歩みを、時代順に 12 章に分けて記述。1950 年（昭和 25）に販売部門を分離してトヨタ自動車販売(株)を設立するが、1982 年（昭和

57) 再び合併し、トヨタ自動車(株)発足。「かんぱん方式」はじめ経営近代化の足跡も詳述している。巻末索引および別冊資料集付。

【SSD リンク】

[本編] http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=6610

[資料集] http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=6620 【社史ウィキリンク】

https://library.osu.edu/wikis/shashidb/index.php/Toyota_Jidosha

【No】 7J

【会社名】 トヨタ自動車(株)

【社史タイトル】 大いなる夢、情熱の日々：トヨタ創業期写真集

【発行年】 1999

【会社沿革と社史メモ】 トヨタ自動車の創業者豊田喜一郎とその仲間たちの仕事ぶりを伝える写真集。喜一郎の生まれた 1894 年（明治 27）から没後 3 年の 1955 年（昭和 30）までの製品・人物・工場などの写真を、6 つの時代区分で配列している。

【SSD リンク】 http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=6630

【社史ウィキリンク】 https://library.osu.edu/wikis/shashidb/index.php/Toyota_Jidosha

【No】 8J

【会社名】 トヨタ自動車(株)

【社史タイトル】 トヨタ自動車 75 年史

【発行年】 2013

【会社沿革と社史メモ】 トヨタ自動車創業からの 75 年史は 3 部からなり、第 1 部「自動車事業への挑戦」は豊田佐吉の発明から書き起こし、1937 年（昭和 12）の豊田喜一郎による自動車事業創業から戦後の量産量販へ準備を重ねた 1950 年代半ばまで。第 2 部「自動車事業の基盤確立」は量産体制の確立、新型車の開発、そして社会的要請へ対応した 1970 年代後半頃まで。第 3 部「グローバル企業への飛躍」は工販合併後本格化した海外生産、グローバルイゼーション、経営危機等に対応した 2010 年代までを扱っている。巻末索引、別冊資料編付。なお 75 年史はまず 2012 年（平成 24）にトヨタ自動車（株）公式サイトに公開され、翌年冊子体が刊行された。

【SSD リンク】

[本編] http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=6633

[資料編] http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=6635

【社史ウィキリンク】 https://library.osu.edu/wikis/shashidb/index.php/Toyota_Jidosha

【No】 9J

【会社名】 日産自動車(株)

【社史タイトル】 21 世紀への道：日産自動車 50 年史

【発行年】 1983

【会社沿革と社史メモ】 1911 年（明治 44）設立の快進社自働車工場は 1914 年（大正 3）小型乗用車の DAT 自動車を完成、後にダット自動車製造と改称。一方で鮎川義介（あいかわ・よしすけ、1880-1967）が設立した戸畑鋳物は 1928 年（昭和 3）頃から自動車部品製造を開始。自動車工業の将来性に着目、国産車の製造をめざし、1931 年（昭和 6）ダット自動車製造を買収。石川島自動車製作所との合併を経て 1933 年（昭和 8）自動車製造(株)設立、鮎川が初代社長となる。彼が創設した持株会社日本産業の傘下に

はいり、1934年（昭和9）日産自動車(株)と改称。50年史は創業からの通年史で写真も多くとり入れた読みやすい体裁。

【SSDリンク】 http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=6730

【社史ウィキリンク】 https://library.osu.edu/wikis/shashidb/index.php/Nissan_Motor_Co.,_Ltd.

【No】 10J

【会社名】 日産自動車(株)

【社史タイトル】 日産自動車社史：1974～1983

【発行年】 1985

【会社沿革と社史メモ】 日産自動車（株）がこれまでに刊行した「30年史:1933-1963」「社史:1964-1973」「50年史:1933-1983」に続き、1974-1983年の事項をまとめたもの。第1次、第2次石油危機にどのように対応したかを、部門ごとの視点で記述。

【SSDリンク】 http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=6740

【社史ウィキリンク】 https://library.osu.edu/wikis/shashidb/index.php/Nissan_Motor_Co.,_Ltd.

【No】 11J

【会社名】 キッコーマン醤油(株)

【社史タイトル】 キッコーマン醤油史

【発行年】 1968

【会社沿革と社史メモ】 室町時代から醤油製造が始まった野田では、原料と水運の利に恵まれ江戸期に醤油生産が栄える。明治期に販路を全国へ広げ機械化も進み、1917年（大正6）一族の合同により野田醤油（株）創立。1964年（昭和39）従来の商標を社名にキッコーマン醤油（株）と改称。創立50年記念に編纂された社史は、既刊の20年史、30年史に多くの資料と図版を加え、更に日本の「食の歴史と醤油」の考察を附録としている。

【SSDリンク】 http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=1030

【社史ウィキリンク】 <https://library.osu.edu/wikis/shashidb/index.php/Kikkoman>

【No】 12J

【会社名】 キッコーマン(株)

【社史タイトル】 キッコーマン株式会社八十年史

【発行年】 2000

【会社沿革と社史メモ】 1917年（大正6）千葉県野田で醤油醸造にたずさわる茂木・高梨一族と、流山の堀切家の8家の醸造家が合同して、野田醤油(株)設立。初代社長は茂木七郎右衛門（もぎ・しちろうえもん、1860-1929）。本書では創業前の「しょうゆ小史」で紀元前からの調味料の歴史を概観。戦後しょうゆ単品の経営から脱却し、多角化・国際化経営を軌道に乗せる。1964年（昭和39）キッコーマン醤油(株)、1980年（昭和55）キッコーマン(株)と社名変更。年表は簡略だが目次が詳細。

【SSDリンク】 http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=1040

【社史ウィキリンク】 <https://library.osu.edu/wikis/shashidb/index.php/Kikkoman>

【No】 13J

【会社名】味の素(株)

【社史タイトル】味の素沿革史

【発行年】1951

【会社沿革と社史メモ】1907年(明治40)設立の鈴木製菓所でヨード等を製造していた[2代]鈴木三郎助(すずき・さぶろうすけ、1867-1931)は、昆布から抽出したうま味で特許を得た池田菊苗(いけだ・きくなえ、1864-1936)博士と協力し工業化を図る。商品名を「味の素」とし、1909年(明治42)発売開始。各地に代理店を置き、1912年(大正元)合資会社鈴木商店と改称。商品開発を進め販売体制も拡充し、1917年(大正6)株式会社に改組。国外にも販路を開くが戦時中は一時生産を中断。戦後再び生産開始し、1946年(昭和21)味の素(株)と改称して資本金を増強し発展する。工業化着手から40年に当たって編纂した社史は、調味料と文化から書き起こした沿革と記録を1-2章に、海外発展史や部門史を3-7章にまとめ、回顧録を最後に付している。広告宣伝物や製造工程図等を本文中に取り入れた編集。[鈴木三郎助は渋沢栄一らが発起した日本化学工業(株)の専務を務めた

【SSDリンク】http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=960

【社史ウィキリンク】<https://library.osu.edu/wikis/shashidb/index.php/Ajinomoto>

【No】14J

【会社名】味の素(株)

【社史タイトル】味の素株式会社社史

【発行年】1971

【会社沿革と社史メモ】「味の素」発売60年を機に編纂された社史で、1.戦前編と2.戦後編の2冊からなる。1.は1888年(明治21)に始まる鈴木家のヨード事業から書き起こし、戦時下の経営難まで。2.は戦後の復興から1960年代の多角化と国際化までの内容。既刊の『味の素沿革史』は社内の編集であったのに対し、本社史は経済学者土屋喬雄の監修のもとに日本経営史研究所が制作した。各編巻頭には有機化学の権威である坂口謹一郎、赤堀四郎両博士の随想を載せ、さらに民俗学者宮本常一の「日本における調味料の歴史」も1.に掲載している。

【SSDリンク】

[1. 戦前編] http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=970

[2. 戦後編] http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=980

【社史ウィキリンク】<https://library.osu.edu/wikis/shashidb/index.php/Ajinomoto>

【No】15J

【会社名】味の素(株)

【社史タイトル】味をたがやす: 味の素八十年史

【発行年】1990

【会社沿革と社史メモ】1908年(明治41)の創業からの80年史で、2編からなる。第1編は戦前編で序章の「池田菊苗と二代三郎助」と3章で構成され、読みやすい物語風の叙述。第2編は戦後から1988年(昭和63)までを扱った時代順の4章からなり、各章を生産、市場、組織等の観点からまとめた経営史的叙述。巻末索引付。

【SSDリンク】http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=990

【社史ウィキリンク】<https://library.osu.edu/wikis/shashidb/index.php/Ajinomoto>

【No】 16J

【会社名】 日本航空(株)

【社史タイトル】 日本航空 10 年の歩み : 1951-61

【発行年】 1964

【会社沿革と社史メモ】 第二次大戦後に日本の航空事業は全て消滅し、外国航空会社が日本に乗り入れていた。日本の民間航空会社再建の動きが起こり、占領軍の営業許可により 1951 年（昭和 26）日本航空（株）発足。1953 年（昭和 28）日本航空株式会社法の交付により、新たな日本航空（株）として特殊法人に再編される。本社史は創立 10 周年記念事業のひとつとして企画されたもので、「創業の経緯」に続き本文が「プロペラの時代」と「ジェット時代の開幕」としてまとめられ、各種資料を付している。図版を多く取り入れた編集で、英文抄訳が本文の間にコラムとして挟み込まれている。

【SSD リンク】 http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=12920【社史ウィキリンク】 https://library.osu.edu/wikis/shashidb/index.php/Nihon_Koku

【No】 17J

【会社名】 日本航空(株)

【社史タイトル】 日本航空 20 年史 : 1951-1971

【発行年】 1974

【会社沿革と社史メモ】 日本航空（株）の創業 20 周年記念事業のひとつとして編纂された社史で、時代順に創業期、成長期、躍進期の 3 編からなる。それぞれを経営、技術、企業環境の 3 部門に分け、部門ごとに外部の研究者が執筆した。付録編の「航空輸送前史」では戦前の内外の航空史をまとめている。

【SSD リンク】 http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=12930【社史ウィキリンク】 https://library.osu.edu/wikis/shashidb/index.php/Nihon_Koku

【No】 18J

【会社名】 日本航空(株)

【社史タイトル】 日本航空社史 : 1971-1981

【発行年】 1985

【会社沿革と社史メモ】 日本航空（株）創業 30 周年記念事業の一つとして編纂された社史で、既刊の『日本航空 20 年史』の編集方針を受け継ぎ、20 年史後の 10 年間に焦点を当てている。序章に創業からの 20 年間の概略を記載、続いて時代順の本編 3 章を置き、終章として直近の動きをまとめている。巻末索引付。

【SSD リンク】 http://shashi.shibusawa.or.jp/details_basic.php?sid=12940【社史ウィキリンク】 https://library.osu.edu/wikis/shashidb/index.php/Nihon_Koku



New articles in this journal are licensed under a Creative Commons Attribution 3.0 United States License.



This journal is published by the University Library System, University of Pittsburgh as part of its D-Scribe Digital Publishing Program and is cosponsored by the University of Pittsburgh Press.